



裁判特化AIシステム  
「AI書面作成」が、  
訴訟前の「内容証明郵便」  
の文面作成に対応

GVA TECH

「AI書面作成」: <https://gvatech-8563915.hs-sites.com/law-firm>

■AI書面作成オンライン説明会の開催日程

▼4/17(金) 19:00～19:30開催▼

<https://gvatech-8563915.hs-sites.com/law-firm/seminar/ai-document-creation-briefing-session20260417>

▼4/23(木) 17:00～17:30開催▼

<https://gvatech-8563915.hs-sites.com/law-firm/seminar/ai-document-creation-briefing-session20260423>

▼4/30(木) 19:00～19:30開催▼

<https://gvatech-8563915.hs-sites.com/law-firm/seminar/ai-document-creation-briefing-session20260430>

▼5/1(金) 19:00～19:30開催▼

<https://gvatech-8563915.hs-sites.com/law-firm/seminar/ai-document-creation-briefing-session20260501>

## ■機能拡充の背景

「AI書面作成」は、裁判特化型のAIシステムであり、様々な事件類型に対応した訴訟に関する法律書面(訴状、準備書面、答弁書など)の作成を支援してきました。

一方で、弁護士実務においては、訴訟以前に、内容証明郵便での通知書送付から紛争解決においては重要です。適切な通知書を作成するためには、事前に依頼者から提供された大量のメールや資料を読み込み、事実関係を整理した上で法的構成を練る必要があり、多大な時間を要することがあります。

このたび、「AI書面作成」では、これらの実務を効率化するために、「受任通知書」「内容証明郵便」の文面作成のための機能を拡充しました。

## ■ 今回の機能拡充について

### 1. 内容証明郵便の文面(任意交渉段階の通知書)作成に対応

依頼者から聞き取った相談メモや相手方が送られてきた通知書面など、膨大な証拠から要件事実との関連性を自動で判定し、それに基づいた具体的な事実適示を通知書に反映させることで、証拠に裏打ちされた説得力あるドラフトを数分で作成します。

### 2. 相手方からの通知に対する、返答・反論書の作成も可能

自ら請求を行う際の通知書作成だけでなく、相手方から届いた通知書(受領した書面)の内容をAIが解析し、それに対する反論や回答を行う書面の作成が可能です。相手の主張の矛盾点を整理し、証拠に基づいたカウンターを論理的に組み立てるプロセスを支援します。

### 3. 特定の紛争類型に縛られず、あらゆる法的請求の起案をサポート

不倫・浮気の慰謝料請求、債権回収、賃貸借トラブル、不当解雇、知財侵害など、弁護士が扱うあらゆる請求に対応しています。定型のテンプレートを埋める作業ではなく、事案ごとにAIが「どのような請求が可能か」を法的根拠とともに導き出すため、個別性の高い特殊な事案でも柔軟な起案が可能です。

## ■「AI書面作成」について

「AI書面作成」は、各種書面作成のワークフローを搭載した生成AIで支援する、弁護士向けの裁判特化AIシステムです。

証拠解析から書面作成までの一連のプロセスを支援することを目的としており、訴訟実務における証拠・記録の読解や整理に要する負担の軽減を通じて、弁護士が人にしかできない判断や業務により注力できる環境づくりを支援します。

特長1: 複雑なプロンプト設計は一切不要

法律書面作成に必要な要件事実や証拠構造、解析の手法はあらかじめシステムにプロンプトとして内蔵されています。煩雑な設定や指示は不要で、事件タイプを選択しクリックするだけで、要件事実ごとの事実引用や評価が的確に行われた書面が出力されます。

#### 特長2: 大量の証拠ファイルを一括処理

50個相当の大量の証拠ファイルも一度に一括で解析可能です。一般的なAIによくある、ファイルの追加や指示を続けると、前半の指示内容を忘れてしまうという事象を制御し、膨大な記録から正確に事実を認定・引用します。

#### 特長3: ストレージ連携と万全のセキュリティ

Googleドライブ、Box、SharePointなどの事務所内のストレージツールと自動同期し、証拠や過去案件を簡単に選択できます。また、生成された書面はシステム上で直接編集が可能で、Wordファイル形式への変換も可能です。そして、ISMS認証(ISO27001)を取得し、通信の暗号化やIP制限など強固なセキュリティ環境を構築しています。

「AI書面作成」の詳細 <https://gvatech-8563915.hs-sites.com/law-firm>

#### ■GVA TECH会社概要

会社名 : GVA TECH株式会社

代表取締役: 山本 俊

本社所在地: 東京都渋谷区代々木3-37-5 2階

設立日 : 2017年1月4日

資本金 : 409百万円

事業内容 : リーガルテックサービス開発・提供

上場証券取引所: 東京証券取引所 グロース市場(証券コード:298A)

URL : <https://gvatech.co.jp/>